

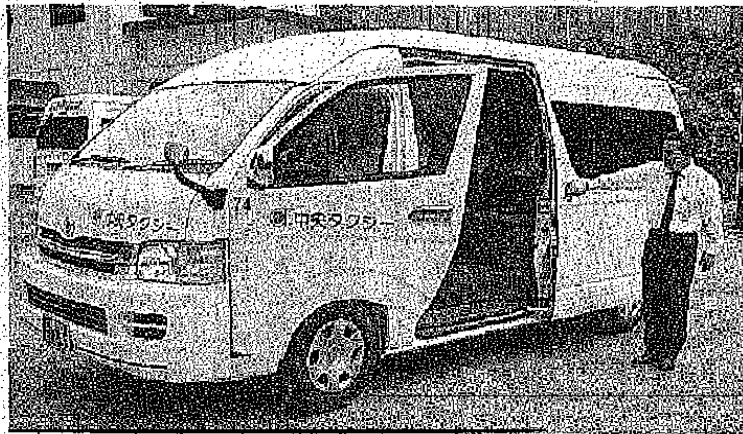
信濃毎日新聞

ジャンボタクシーに低公害車 中央 タクシー

中央タクシー(長野市)は成田、羽田、中部国際の各空港と乗客の自宅を結ぶ空港便で主に使うジャンボタクシーに、液化石油ガス(LPG)とガソリンを併用する低公害車二台を導入した。エンジンは始動時だけガソリンを使い、走行中はLPGを使う仕組み。同型のガソリン車に比べて二酸化炭素(CO₂)排出量を12%削減でき、排

気量は約二千万円。車面は大分市の業者が開発、販売しており、この業者によると長野県に納入したのは今回が初めて。LPGは現在、軽油より一割当たり五十円ほど安いといい、中央タクシーは燃料費節減にもつながるとしている。導入費は二台

中央タクシーが導入した低公害のジャンボタクシー



のに対し、ジャンボタクシーは35・6%増の七億八千八百万円と好調で、運行態勢を強化している。

今秋にも十五人乗り小型貸し切りバス三台を導入する計画で、宇都宮社長は「普通車タクシーの需要が停滞する中、長距離輸送で売り上げ減を吸収していきたい」としている。

同社が長野市を拠点に運行しているジャンボタクシーは五十一台で、普通車タクシーの四十五台を上回っている。二〇〇八年三月期の売上高も、普通車が前期比6・9%減の五億三千九百万円だった